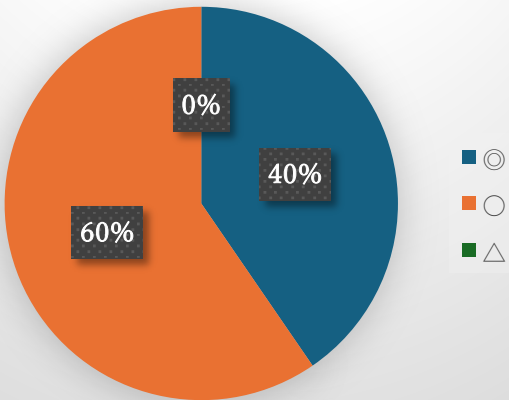


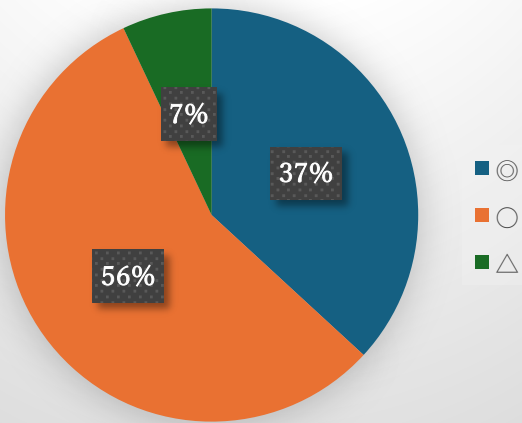
A 子どもの育ちをとらえる視点

信頼関係



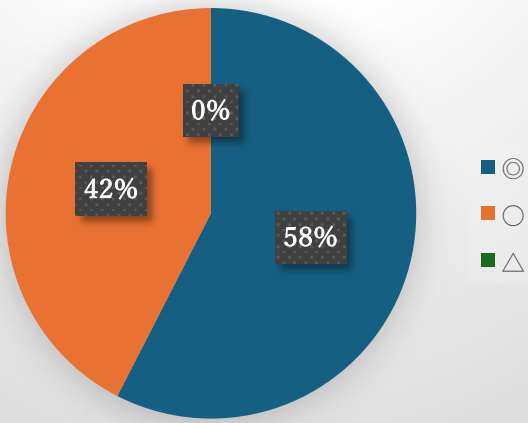
- 1) 子どもとの信頼関係
 - 2) 子どもの感情
 - 3) 自我の芽生え
- について半分以上が◎となっていた

環 境



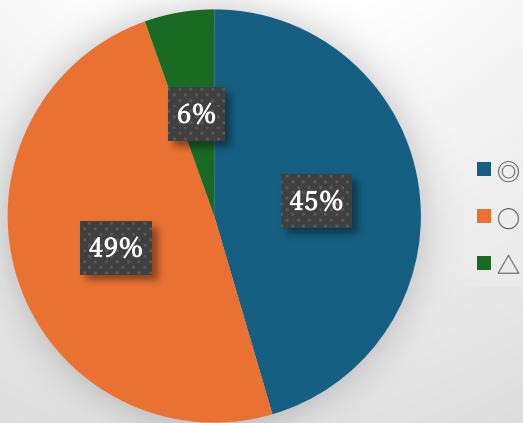
- 1) 自発的・積極的に関わったか
 - 2) 満足感・充実感の育ち
 - 3) 見守り・待つ存在でいられたか
- について93%できていた。しかし、7%のみ努力が必要と答えていた。

関わり・個人差



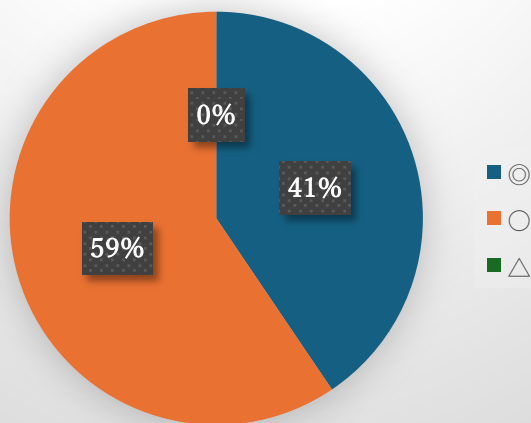
- 1) 情緒的・社会的及び道徳的な発達を促す
 - 2) 居心地良い環境づくり
 - 3) 午睡や休息は適切な見守り
- について100%できていた。とくに3)は重要である。

遊 び



- 1) 仲間との関係を育む
- 2) 一緒に活動する楽しさや経験
- 3) 存在や良さを認めあえる育ちについて 94%できていた。とくに6%は努力が必要である

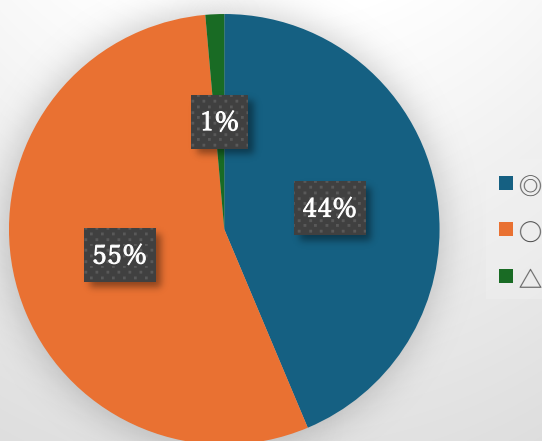
生きる力



- 1) 諸感覚を働かせた多様な活動を生活や遊びの中での経験
- 2) 感性や好奇心、探究心や思考力を培うについて 100%できていた。

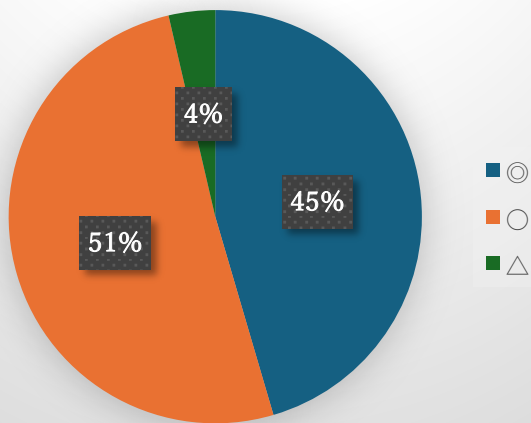
B 自らの共育・教育・保育をとらえる視点

目 標



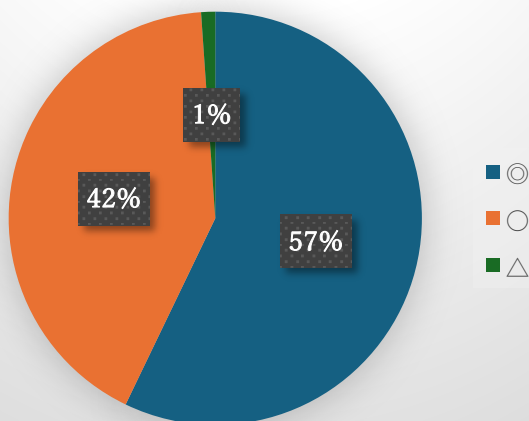
- 1) 適切なねらい・ねらいの立て方
- 2) 反省・評価は翌月に生かされたか
- 3) 各年齢の発達で必要な経験について
- 4) 「楽しく」登園できるような計画について 99%できていた。1%努力が必要となった。1%は必要な経験がさせられなかったとの反省がある。

環 境



- 1) 安全面の管理、衛生面の管理に配慮
 - 2) 共育・教育・保育に向けての準備や配慮
 - 3) 自立のため、環境の工夫
- について 96%ができていた。4%努力が必要となった。環境への配慮が求められる。

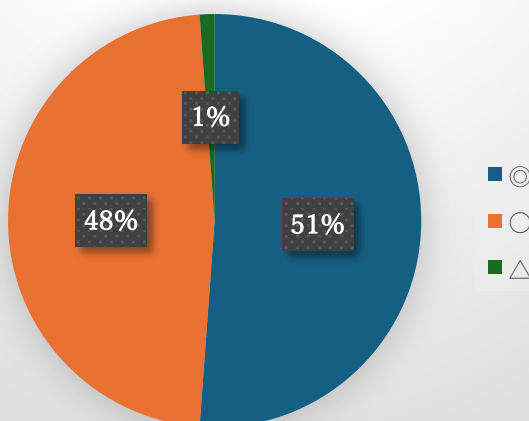
援助・方法技術



- 1) 本当の笑顔で子どもと向き合っているか
 - 2) 明るく元気に子どもと向き合っているか
 - 3) 子どもがしたくなるような言葉掛け
 - 4) 自己肯定感を育む教育・保育ができたか
- について 99%ができていた。1%努力が必要となった。

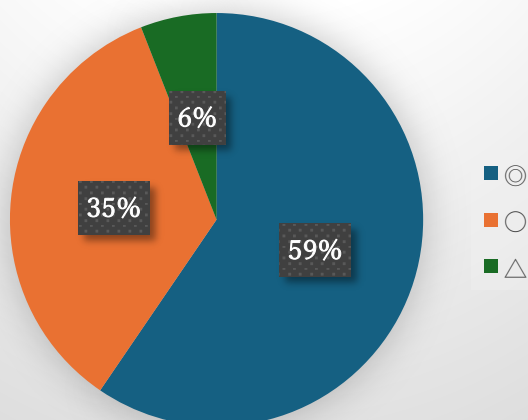
C 保育教諭の学び合いとしての視点

職員連携



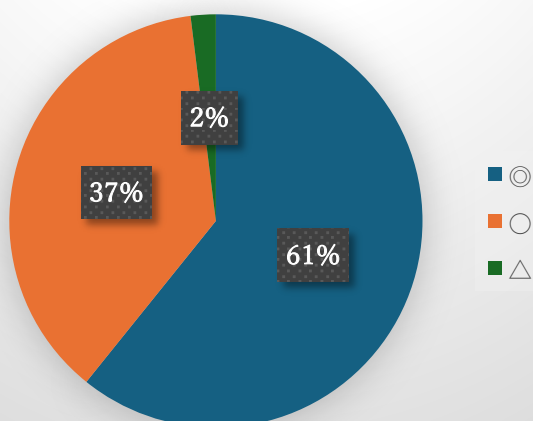
- 1) 明るい会話・雰囲気作りを意識して行動に移せたか
 - 2) 十分な連携がとれたか
 - 3) 意見統一等の話し合い・人間関係
 - 4) 自分自身の役割・適切な動き
 - 5) 立場を弁えての言動・行動
- について 99%ができていた。1%努力が必要となった。人と人とのつながりは大切である

保護者連携



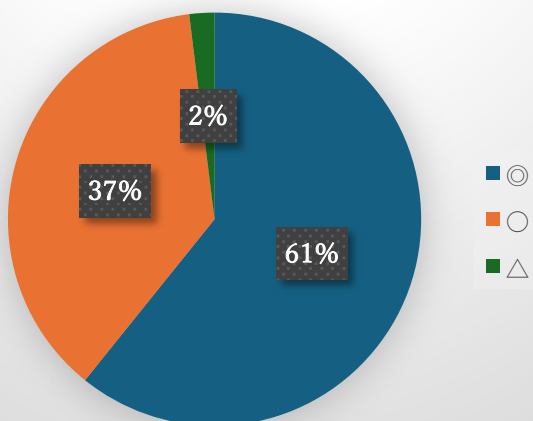
- 1) 保護者の送迎時での明るい笑顔での対応
 - 2) 子どもの成長の喜びを共有
 - 3) 養育力の向上のため、適切な支援
 - 4) 連絡漏れや不備なこと
 - 5) 苦情や意見等に適切に対応
- について 94%ができていた。6%に対して 3)4)について努力が必要である

研 修



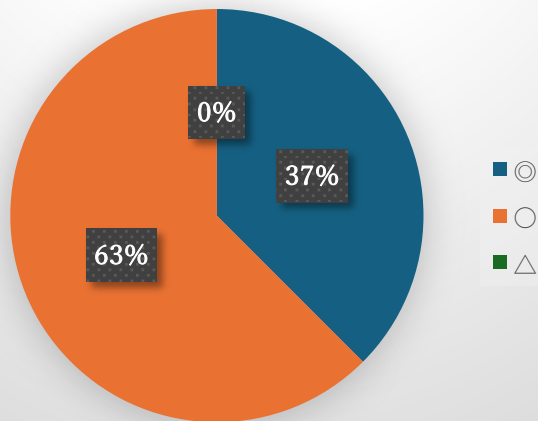
- 1) 学びの深まりに繋がっていたか
 - 2) 質の向上が図られるよう工夫したか
 - 3) 教育・保育の専門性を高める自己研鑽を重ねているか
 - 4) 教育・保育の振り返り、問題点や課題を見付けることはできたか
- について 98%ができていた。2%に対して 2)3)にいて努力が必要である

記 録



- 1) 提出物の期限は守れたか
 - 2) 記録・書類等の管理は迅速にできたか
 - 3) 連絡ノートや日誌等、簡潔明瞭で客観的だったか
- について 98%ができていた。2%に対して 1)に努力が必要である

教育管理



1) 教育管理の内容は守れているか
について 100%ができていた。

全体的に意識が高い事がわかる。努力が必要な項目は工夫すれば問題ない範囲である
今後に期待する

理事長・園長 齋藤達成

